

第3章

情報の記入とプラン

『スーパーマップル・デジタル10』は、地図上に各種の情報を記入することで、より使いやすい自分だけの地図を作りあげることができます。本章では、これらカスタム情報の活用方法を解説すると共に、ただ見るだけの地図

とは一線を画す『スーパーマップル・デジタル10』ならではの機能“プラン”についても説明します。どのように目的地までのルートを探し、どうやってその結果を活用するかについて、じっくり見ていきましょう。

3-1 地図上に情報を記入する	79
3-2 カスタム情報の保存と活用	89
3-3 プランの設定と実行	98
3-4 プランの保存と活用	106



地図上で利用できる各種情報

■テキスト ▶ P.79



地図にアイコンや文字、画像を表示し、内部に住所などのコメントや画像を付属できるオブジェクトです。さまざまな情報の入力、色や引出し線を設定できます。

■直線 ▶ P.85



始点・終点間をドラッグするだけで、地図上に直線を記入することができます。水平や垂直だけでなく、斜め(±45°)の直線を作成することもできます。

■正円や楕円 ▶ P.87



地図上に正円および楕円を記入することができます。楕円は最大1000kmまで記入可能になっています。連続記入が可能で、直径の概算距離や面積を確認できます。

■プランニング経路 ▶ P.107



プランニングで作成された経路は、太く見やすい線によって地図上に表示されます。始点から終点までを構成点の順に再生する、経路再生機能も利用できます。

■グラフ ▶ P.141



Microsoft Excelなどの表計算ソフトで作成した分布図、円グラフ、棒グラフの各種グラフデータを取り込み、カスタム情報として地図上に表示します。

■ルート ▶ P.84



道路に沿った折れ線を記入することができます。通過点を順番にクリックしていくことで、通過地点間のルートを自動検索して自動記入されます。

■四角形 ▶ P.86



地図上に最大1000kmまでの四角形を記入することができます。縦・横の概算距離や面積を確認できるほか、連続記入や正方形の作成も可能です。

■折れ線や多角形 ▶ P.88



地図上でクリックを繰り返すことで、地図上に折れ線を記入できます。最終的に始点と終点を結ぶと多角形が完成します。

■GPSログ ▶ P.132



GPS機器などから取得したログファイルを取り込み、カスタム情報として地図上に表示します(一部のフォーマット除く)。auあしあとデータも利用できます。

3-1

地図上に情報を記入する

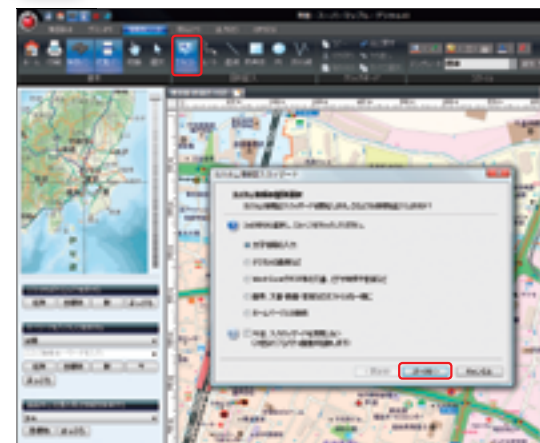



リボンの「情報記入」タブからは、テキストや画像、ルート、四角形などの追加情報を地図へ自由に書き込むことができます。それらを「カスタム情報」と呼び、使い込むほど実用的にカ

スタマイズされていきます。ただし、やみくもに記入を繰り返すと地図が見にくくなってしまいますので、何度も試してスマートな記入を心がけましょう。

テキストを記入する

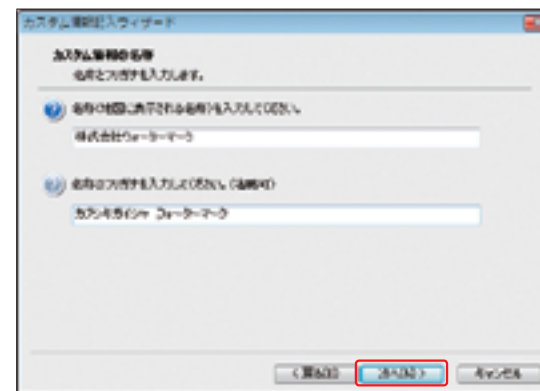
1 [テキスト] ボタンをクリックして地図上の位置を指定する



【図形記入】グループの[テキスト]ボタンをクリック後、記入したい地図上の場所をクリックします。すると、カスタム情報記入ウィザードが表示されて手順が開始されます。まずはカスタム情報の種別を5種類から選択し、チェックを入れましょう。

クイックアクセスバーの「設定」→「カスタム情報(1)」→「カスタム情報テキスト作成時の動作」で「プロパティを開く」にチェックを入れておくと、カスタム情報記入ウィザードではなくプロパティが表示されます。その場合の記入方法はP.81からの「プロパティを編集する」を参照してください。また、「ウィザードやプロパティを表示しない」にチェックを入れた場合は、未設定のカスタム情報が地図上に反映されます。その場合もプロパティの編集が必要になります。

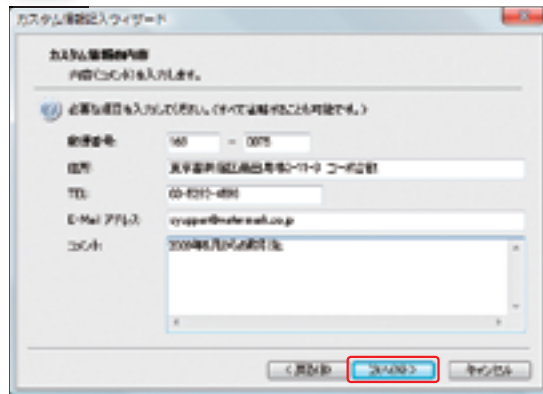
2 カスタム情報の名称を設定する



地図に表示される名称と、フリガナを入力します。名称が長いと地図が見にくくなることもあるので、簡潔な名称に決めるといいでしょう。また、フリガナは省略しても問題ありません。

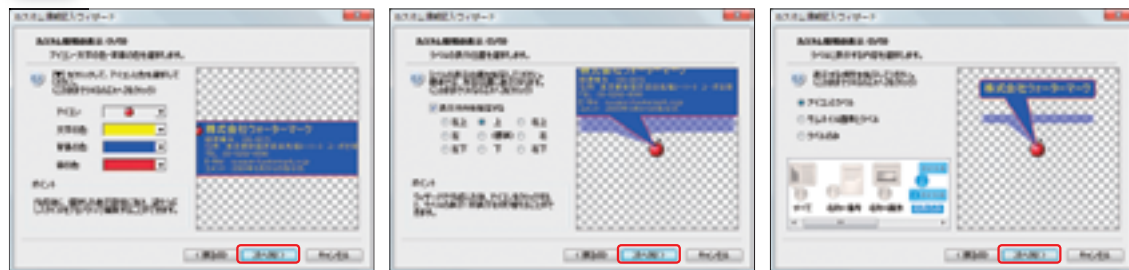
Point
カスタム情報の名称について
 カスタム情報の名称は、地図上だけでなく作業バーに表示されます。情報の確認、編集、整理などを行なう場合は、作業バーを表示しておく便利です。

3 カスタム情報の内容を設定する



記入するテキストに付随する、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、コメントの各データを入力します。ここでは、STEP1でクリックした地図上の場所の住所が自動的に入力されます。必要なければ、すべて省略することも可能です。また、カスタム情報の種別で画像や音楽を選択している場合はファイルの選択、ホームページとの接続を選択している場合はアクセスするホームページのURLの入力を行いません。

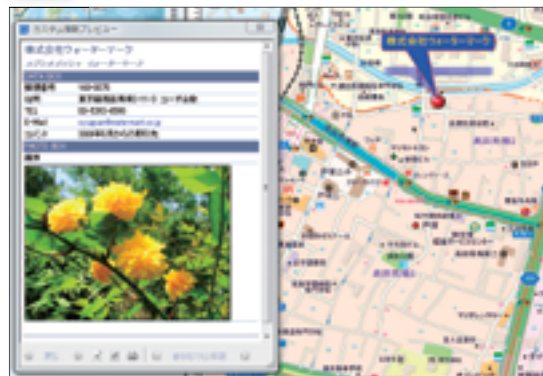
4 カスタム情報の表示を設定する



3段階の過程に分けて表示方法の設定を行ないます。まず、地図上に表示されるアイコン、文字の色、背景の色、線の色を選択します。次に、ラベルの表示位置を選択します。最後に、ラベルに表示する内容を設定します (P.82-P.83

参照)。なお、名称のみ表示するなど内容を制限すれば、表示がシンプルになり地図が混雑しません。また、テキスト情報が右側の画面に表示しきれない場合でも、実際の画面上には正しく表示されます。

5 記入された情報を確認する



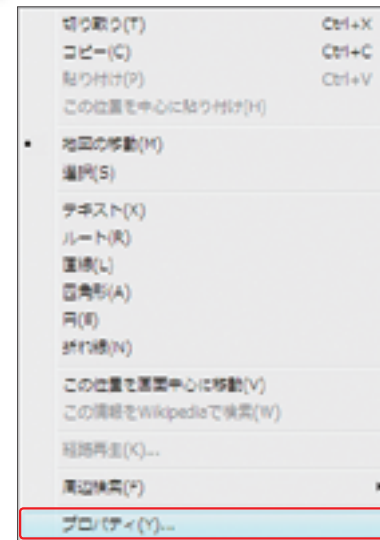
地図上に反映されたテキストを [移動] ボタンでクリックするとカスタム情報プレビューが表示され、STEP3で設定した内容を閲覧できます。また、アイコンまたはサムネイル画像の中心部をクリックすると、ラベルの表示/非表示を切り替えられます。ラベル非表示の場合は、マウスカーソルをテキストにしばらくの間停止させると、テキストの名称とフリガナがポップアップ表示されます。画像や音楽を付属した場合は、ファイル名をクリックして再生します。ホームページのURLを付属した場合は、URLをクリックしてアクセスしましょう。また、テキストの位置を変更するときは、[基本] グループの [選択] ボタンをクリック後、テキストをドラッグしてください。

プロパティを編集する

テキストをはじめ全てのカスタム情報について名称などの基本情報を変更したり、付属情報を追加する場合は、カスタム情報のプロパティから行ないます。またプロパティで

は、地図上の色や表示状態も変更できます。[基本情報] タブには住所や電話番号などのテキスト情報、それ以外のタブには画像やマルチメディアファイルが格納されます。

1 プロパティを表示する



[基本] グループの [選択] ボタンで地図または、作業バー内のカスタム情報一覧の中から編集したいカスタム情報を選択します。そして、右クリックしてメニューから「プロパティ」を選択し、プロパティを表示します。

Point
複数のカスタム情報を一括編集できる

[Shift] キーや [Ctrl] キーを押しながらカスタム情報をクリックして複数のカスタム情報を選択し、プロパティを表示すると一括で編集できます。カスタム情報を一度に全選択するには、リボンの [情報記入] タブ→ [クリップボード] グループ→ [すべて選択] ボタンで実行します。また、選択モード状態で地図上のカスタム情報以外の部分をクリックすれば選択を解除できます。

2 情報を編集する



編集したい情報のタブを選択します。カスタム情報の種類がテキストの場合、ここで設定した「基本情報」の名称を地図上に表示することができます。メモや感想などのコメントを地図上の表示に付随させる場合は画面左下の「追加」ボタンをクリックし、編集ダイアログを表示します。コメントの項目名を変更の上、テキストの本文を入力しましょう。また、「表示内容」ではラベルやアイコンの表示サイズを変更することができます。また、コンピュータに保存されている特定の形式の画像 (*.ico、*.png、*.gif) を、オリジナルのアイコンとして表示することができます。

Point
矢印も入力できる

P.78のルート線のようにルート、直線、折れ線の終点を矢印の形状にすることが可能です。

ラベル表示の種類一覧

テキストの記入で設定できる全17種類のラベル表示を紹介します。「アイコンとラベル」、「サムネイル画像とラベル」、「ラベルのみ」の3グループがあり、各グループにさ

らにさまざまな組み合わせが用意されています。入力した情報内容や地図の混雑具合に応じて、見やすいラベル表示を利用するといでしょう。

アイコンとラベル

■すべて



■名称+画像



■備考+画像



■画像のみ



■名称+備考



■名称のみ



■備考のみ



サムネイル画像とラベル

■名称+備考



■名称のみ



■備考のみ



ラベルのみ

■すべて



■名称+備考



■名称+画像



■名称のみ



■備考+画像



■備考のみ



■画像のみ



1
2
3
4
5
6

情報の記入とプラン

1
2
3
4
5
6

情報の記入とプラン

ルートを記入する

1 [ルート] ボタンをクリック後、ルートの始点をクリックする



ルートの記入は、[図形記入] グループの [ルート] ボタンをクリックして操作タイプを切り替えておく必要があります。地図上にマウスポインタを持っていくと、田の形になるので始点となる場所でクリックします。

2 ルートの中継点をクリックする



始点をクリックしたあと、そのまま十字型のマウスポインタを中継点に移動させてクリックします。中継点の指定は何度でも繰り返すことができます。キーボードの [Back Space] キーを押すと、描画されたルートの1つ前の構成点に戻ることができます。

3 ルートの終点をダブルクリックする



中継点をすべて経由したら、終点にマウスポインタを合わせてダブルクリックします。ここではじめて、始点からの全ルートが表示されることになります。また、マウスポインタの軌跡にかかわらず、ルートは道のある場所が自動的に選ばれます。



Point

道路がない場所を通過したい

道路がない場所を通過したい場合などは、[Ctrl] キーを押しながらクリックすると、その区間のみルート検索せずに通過点を記入していくことができます。



Point

歩行者用ルートを記入

設定を変更すること (P.38参照) で、ルート作成時に歩行者用データ (一部地域のみ) がある場合、このデータを使ってルートを記入することができます。これを使うと、道路の両端や歩道橋、地下道などにルートが作成されます。



直線を記入する

1 [直線] ボタンをクリック後、直線の始点をクリックする



直線の記入は、[図形記入] グループの [直線] ボタンをクリックして操作タイプを切り替えておく必要があります。切り替えを確認したら、まず直線の始点をクリックします。このとき、マウスのクリックボタンを離すと終了してしまうので注意しましょう。STEP2 の操作を行なうまで押し続けてください。

2 直線の始点から終点までドラッグする




直線の始点をクリックして指定したら、そのまま終点までドラッグします。ドラッグを止めた時点で直線が地図上に記入されます。



Point

概算距離を見てみよう

[移動] ボタン  を選択後、マウスポインタをルート、直線などのカスタム情報上にしばらく停止させると概算距離や面積がポップアップ表示されます。また、設定 (P.37参照) の「カスタム情報(1)」→「備考表示の設定」で「消費カロリーを表示する」にチェックを入れ、速度と換算する食物を設定すると、移動時間と消費カロリーも表示されます。



四角形を記入する


1 [四角形] ボタンをクリック後、作成開始地点をクリックする



四角形の記入は、[図形記入] グループの [四角形] ボタンをクリックして操作タイプを切り替えておく必要があります。切り替えを確認したら、四角形の中心点にしたい位置をクリックします。すると四角形の記入ダイアログボックスが表示されるので、幅と高さを km 単位で設定します。また、開始地点をクリック後にそのままドラッグすると、大きさや形を見ながら直接四角形を描くことができます。このとき、入力中の幅と高さがステータスバーに表示されます。

2 記入した四角形のサイズを確認する



四角形が記入されたら、[移動] ボタン  で四角形にマウスポインタを合わせるか、クリックしてカスタム情報プレビューを表示してみましょう。縦と横のサイズに加え、概算の面積を確認することができます。

Point 線や図形の連続記入

[図形記入] グループの [ルート] [直線] [四角形] [円] [折れ線] の各ボタンを2回続けてクリックすると、記入後に [移

動] に戻らず、それぞれの情報を連続記入できるようになります。

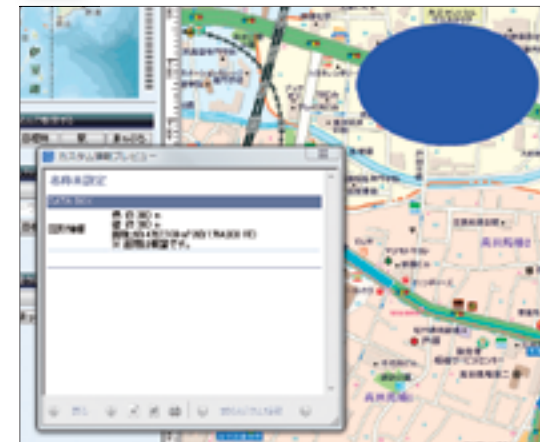
正円や楕円を記入する


1 [円] ボタンをクリック後、作成開始地点をクリックする



正円や楕円の記入は、[図形記入] グループの [円] ボタンをクリックして操作タイプを切り替えておく必要があります。切り替えを確認したら、円の中心点にしたい位置をクリックします。すると円の記入ダイアログボックスが表示されるので、幅と高さを km 単位で設定します。また開始地点をクリック後にそのままドラッグすると、大きさや形を見ながら直接円を描くこともできます。このとき、入力中の幅と高さがステータスバーに表示されます。

2 記入した円のサイズを確認する



記入した円に [移動] ボタン  でマウスポインタを合わせるか、クリックしてカスタム情報プレビューを表示してみましょう。縦と横のサイズ、概算の面積をひと目で確認できます。

Point ドラッグでの正方形と正円の記入

四角形や円をマウスのドラッグで作成する場合、キーボードの [Shift] キーを押しながらドラッグすることで正方形や正円にな

ります。また、円の場合は [Ctrl] キーを押しながらのドラッグでドラッグ起点中心の正円になります。

Point 正方形・正円の距離が異なるのは？

スーパーマップル・デジタルの地図は球体を平面に表現しているため、実際の地形と比較して東西方向に多少のゆがみ

が生じています。そのため、地図上で正方形や正円を作成しても、実際の縦横の長さは多少異なる形になります。

折れ線や多角形を記入する

1 [折れ線] ボタンをクリック後、折れ線の始点をクリックする



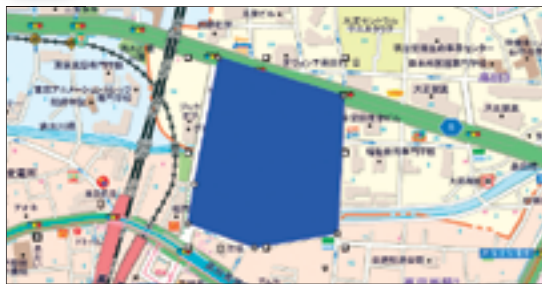
折れ線や多角形の記入は、[図形記入] グループの [折れ線] ボタンをクリックして操作タイプを切り替えておく必要があります。切り替えを確認したら、折れ線の始点をクリックします。

2 折れ線の中継点をクリックする



始点をクリックしたあと、そのまま十字型のマウスポインタを中継点に移動させてクリックします。ルートの記入と同じく、中継点の指定は何度でも繰り返すことができます。水平・垂直線を作成したい場合は、[Shift] キーを押しながらクリックすることで、水平・垂直・斜め(±45°)の折れ線を作成することができます。

3 折れ線の終点をダブルクリックする



中継点を経由後、終点にマウスポインタを合わせてダブルクリック、または、終点をクリック後 [Esc] キーを押すと折れ線が完成します。中継点を2カ所以上経由し、始点と終点をつなげば多角形になるので試してみましょう。多角形作成の場合、中継点を経由後に始点付近にマウスカーソルを合わせると、マウスカーソルが田から田に変わります。



Point カスタム情報記入中の地図移動

広域にわたる折れ線やルートを記入したい場合は、記入中にキーボードの [↑↓←→] キーで地図を移動させながら、続

けて線を描くことができます。その場合、折れ線やルートが残像として残ります。

3-2

カスタム情報の保存と活用

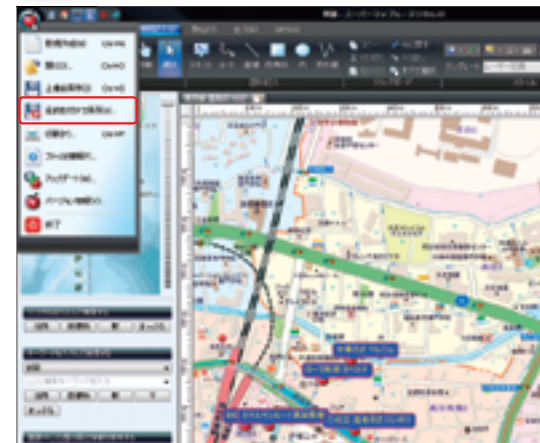


地図上にテキストや図形などを記入できるカスタム情報は、スーパーマップル・デジタルを利用する上でとても役立つ機能です。地図上に記入したカスタム情報は、カスタム情報ファイルと

してコンピュータに保存したり、印刷することもできます。また、カスタム情報の入力形式をテンプレートとして登録すれば、より便利に入力できます。

カスタム情報を保存する

1 カスタム情報表示中に「名前を付けて保存」を選択する



作成した地図上のカスタム情報は自動保存されないため、ユーザーの手で保存作業を行なう必要があります。マップルボタンをクリックしてメインメニューを開き、「名前を付けて保存」を選択します。



Point 作成者の名前やコメントを追加

マップルボタンの「ファイル情報」を選択し、ファイル情報画面を表示させます。そこでは、カスタム情報ファイルごとに作成者の名前やコメント、コピーライトを設定できます。

2 ファイル名を入力してコンピュータに保存する

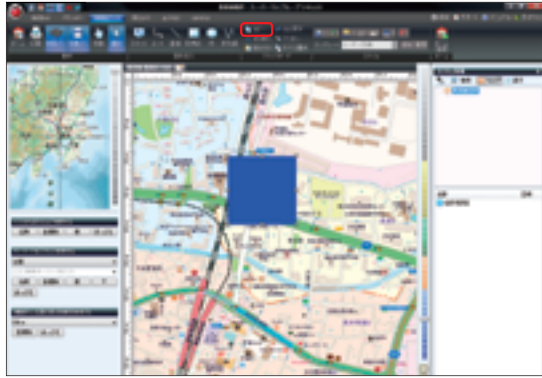



ファイル名を入力し、保存場所を選択したら「保存」をクリックします。するとカスタム情報ファイル (*.rcm) として保存され、専用のアイコンのファイルが作成されます。作成したファイルをダブルクリックすることにより、保存時の状態のまま地図を表示させることができます。また、上書き保存はショートカットバーからも行なえます。



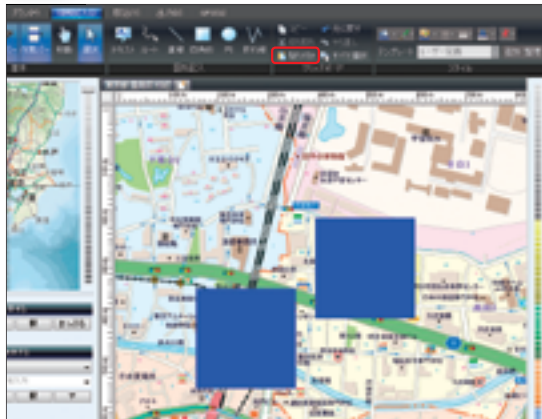
コピーや貼り付けで情報を追加する


1 記入した情報を選択して「コピー」をクリックする



記入した情報を複製するときは[基本]グループの[選択]ボタンで操作タイプを切り替え、目的のカスタム情報をクリックします。そして、[クリップボード]グループの「コピー」をクリックしましょう。コピーするときは、キーボードの [Ctrl] + [C] でも同様の操作が可能です。

2 「貼り付け」をクリックする



[クリップボード]グループの「貼り付け」をクリックすると、元のカスタム情報に重なって同じものが複製されます。あとは[基本]グループの「選択」ボタンをクリックし、追加したい場所にドラッグすれば完了です。[クリップボード]グループのボタンを使わずに、右クリックからでも一連の作業は行なえます。貼り付けるときは、キーボードの [Ctrl] + [V] でも同様の操作が可能です。



コピー後にマウスイカーソルを追加したい場所に合わせて右クリックし、「この位置を中心に貼り付け」を選択する方法もあります。この場合は、最初から特定の位置に貼り付けることができます。

スタイルを変更する

スタイルの変更は入力後のプロパティ (P.81 参照) でも可能ですが、ここではリボンメニューでの変更方法を紹介

します。あらかじめスタイルを設定しておけば、以後作成するカスタム情報に適用されます。

1 塗りつぶしの色を変更する



[スタイル]グループにある「塗りつぶしの色」アイコンからプルダウンメニューを開きます。するとカラーパレットが表示されるので、目的の色をクリックしましょう。「塗りつぶしの色」アイコンの色が変更すれば、以後、カスタム情報の記入時に適用されます。

2 塗りつぶしのスタイルを変更する



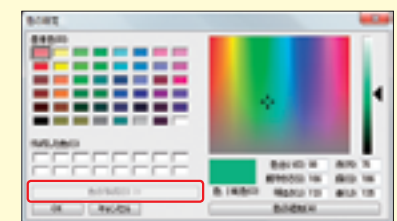
[スタイル]グループにある「塗りつぶしのスタイル」アイコンからプルダウンメニューを開きます。すると波状や格子状などのスタイルパレットが表示されるので、目的のスタイルをクリックしましょう。以後、カスタム情報の記入時に適用されます。



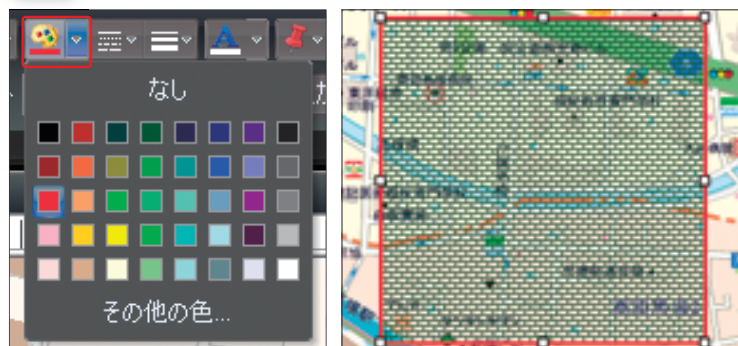
Point

新しい色を作成して登録しよう

カラーパレットの「その他の色」を選択すると色の設定画面が表示されます。そこで「色の作成」をクリックすれば、色合いや明るさを自由に調整しながら、新しい色を作成してパレットに登録できます。



3 線の色を変更する



[スタイル] グループにある「線の色」アイコンからプルダウンメニューを開きます。するとカラーパレットが表示されるので、目的の色をクリックしましょう。「線の色」アイコンの色が変更すれば、以後、カスタム情報の記入時に適用されます。

4 線のスタイルを変更する



[スタイル] グループにある「線のスタイル」アイコンからプルダウンメニューを開きます。すると点線や実線などのスタイルパレットが表示されるので、目的のスタイルをクリックしましょう。以後、カスタム情報の記入時に適用されます。
複数のカスタム情報を選択 (P.81 参照) してからスタイルの変更作業を行なうと、一括して変更することができます。

5 線の幅を変更する



[スタイル] グループにある「線幅」アイコンからプルダウンメニューを開きます。すると線の幅パレットが表示されるので、目的の幅をクリックしましょう。また、「その他の線幅」を選択すると、パレットにない幅を設定することができます。以後、カスタム情報の記入時に適用されます。

6 文字の色を変更する



[スタイル]グループにある「文字の色」アイコンからプルダウンメニューを開きます。するとカラーパレットが表示されるので、目的の色をクリックしましょう。「文字の色」アイコンの色が変更すれば、以後、カスタム情報の記入時に適用されます。

7 アイコンを変更する



[スタイル]グループにある「アイコン」アイコンからプルダウンメニューを開きます。するとアイコンパレットが表示されるので、目的のアイコンをクリックしましょう。以後、カスタム情報の記入時に適用されます。



Point

テンプレートアイコンとオリジナルアイコン

本ページにあるリボンメニューからのアイコン選択は、80個の用意されたアイコンだけが選択できます。オリジナルのアイ

コンを配置したい場合は、アイコンファイル (*.ico、*.png、*.gif) を用意し、P.81のプロパティで設定します。

テンプレートを作成して登録する

「入力テンプレート」は、カスタム情報の地図上に表示されるアイコン・背景・文字などの組み合わせの設定を、目的に合わせてあらかじめ登録したテンプレートです。入力テンプレートを利用することにより、これから追加するカ

スタム情報の初期値（コメントなどの付属情報・色・アイコンなど）をあらかじめ設定しておくことができます。これらの設定は、ユーザー定義の入力テンプレートとして保存することで活用できます。

1 入力テンプレートの追加画面を表示して名前を入力する



「情報記入」→「スタイル」グループのテンプレートの「追加」をクリックして入力テンプレートの追加画面を表示させます。そして、テンプレートの名前を入力したら「編集」をクリックします。

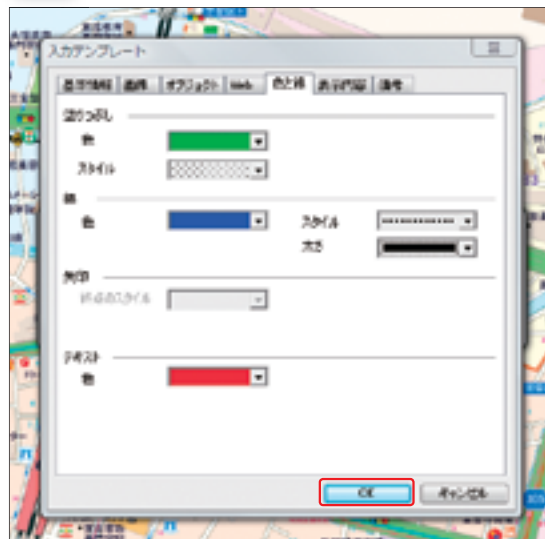


Point

入力テンプレートはこんなときに便利

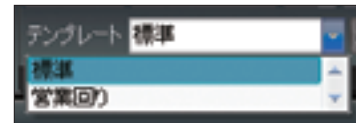
ビジネスやプライベートなどでカスタム情報のデザインを使い分ける場合、種類ごとに定型のスタイルを適用したり、共通のコメントをあらかじめ適用しておくときに便利です。

2 地図上の表示を設定する



入力テンプレート画面が表示されるので、「色と線」タブや「表示内容」タブをクリックして設定画面を呼び出し、塗りつぶしや、線の色・太さ、テキストの色やアイコン・ラベルの表示などを設定します。そして「OK」をクリック後、入力テンプレートの追加画面で「登録」をクリックしましょう。

テンプレートのプルダウンリストには、作成したテンプレート名が追加されます。



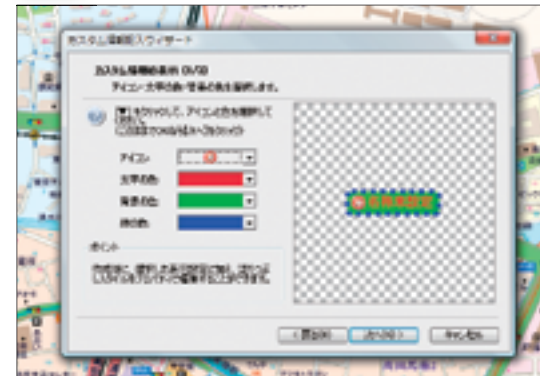
登録したテンプレートを利用する

1 「テンプレート」のプルダウンメニューから選択する



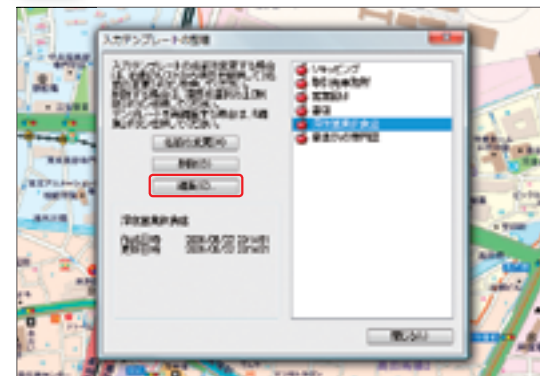
「スタイル」グループにある「テンプレート」のプルダウンメニューは、最初は「標準」のみです。しかし、P.94の手順でテンプレートを登録していけば、目的に合わせて入力テンプレートを使い分けることができます。

2 テキスト記入の手順を実行する



P.79-P.80で解説した手順を実行し、テキスト記入の設定を開始します。すると、本来は3つの手順を踏むカスタム情報の表示設定が、すでに選択したテンプレートの内容に変更されています。必要に応じて、ここでさらに変更を加えるといいでしょう。

3 テンプレートを編集する



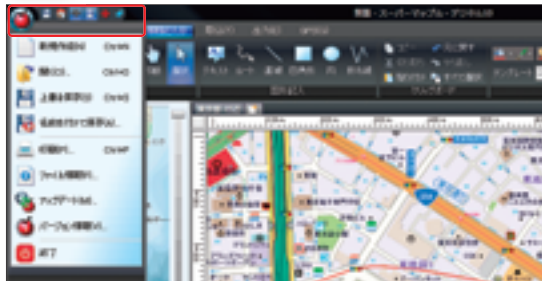
登録したテンプレートの内容を変更したいときは、「スタイル」グループのテンプレートの「整理」をクリックし、入力テンプレートの整理画面を表示させて行ないます。変更するテンプレートを選択して「編集」をクリックすると入力テンプレート画面が表示されるので、「色と線」タブや「表示内容」タブをクリックして再設定しましょう。

カスタム情報を印刷する

カスタム情報印刷は、単純に表示されている地図を印刷するのではなく、カスタム情報に含まれた文字情報や画像と地図を同じ用紙内に印刷するという目的で利用します。ま

た、カスタム情報ごとに地図が自動的に移動して印刷するため、連続で出力することもできます。マーケティング資料や旅行ガイドなどに利用するとよいでしょう。

1 カスタム情報表示中に「印刷」を選択する



印刷するカスタム情報テキストが表示されていることを確認したら、[基本] グループの [印刷] ボタンをクリックします。また、マップルボタンをクリックしてメインメニューを開き、「印刷」を選択することも実行できます。基本的な地図印刷については、P.72-P.76を参照してください。

2 印刷の種類を選択する



印刷ウィザードが表示されたら、3種類の中から印刷の種類を選択します。ここでは「カスタム情報を印刷する」をクリックしてください。

3 印刷の内容を設定する



次に、カスタム情報の印刷画面が表示されるので、まず印刷するカスタム情報にチェックを入れます。そして印刷スタイルと1ページあたりの印刷件数を設定したら、最後に印刷の向きを選択します。地図の収録範囲により印刷されない部分が出る可能性もあるので、印刷前に「印刷プレビュー」で確認するといいでしょ

4 印刷プレビューを確認する

■全面:地図



■左:地図 右:データ(+写真)



■上:地図 下:データ(+写真)



印刷設定の完了後は、印刷に入るまえに印刷レイアウトが正しく表示されるか印刷プレビューを確認するといいでしょ。地図の収録範囲により地図が印刷されない場合もあるので、注意が必要です。

5 地図の印刷を開始する



印刷プレビューで正しく印刷されるか確認後、画面左上の「印刷」をクリックします。するとプリンタの設定ダイアログが表示されるので、プリンタ側の印刷設定を確認してから印刷を実行しましょう。設定の内容は接続されているプリンタの機種によって異なります。

3-3 プランの設定と実行

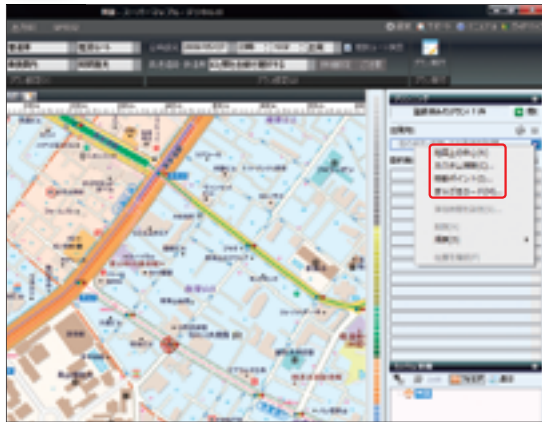



リボンの【プラン】タブから実行するプランニングとは、出発地から目的地（経由地）までの移動ルートや行程表を自動的に作成する機能です。車種や歩行スピード、鉄道の料金比較など

のさまざまな検索条件を組み込むことで、もっとも効率のいいルートを検索できます。旅行など外出の計画を立てるときに重宝するので、快適に使いこなせるようにしましょう。

出発地と目的地を設定する

1 出発地を設定する





【基本】グループの【作業バー】ボタンをクリックして、作業バーにプランニングメニューとカスタム情報メニューを表示します。出発地を登録するには、プランニングポイント編集ボックスの右にある  ボタンで表示されるメニューをはじめ、以下の方法があります。

- ・地図上の中心を登録する方法
- ・カスタム情報を使って登録する方法
- ・移動ポイントを使って登録する方法
- ・まっぶるコードを使って登録する方法
- ・地図の右クリックメニューで登録する方法
- ・検索結果を使って登録する方法

■地図上の中心を登録

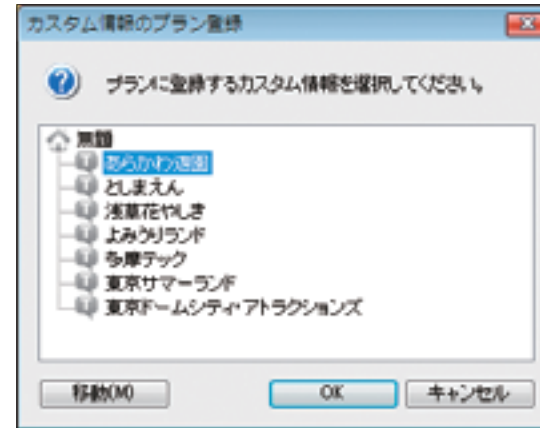


プランニングポイント編集ボックスの右側にある  ボタンをクリックし、メニューから「地図上の中心」を選択します。すると、現在表示している地図の中心に  アイコンが表示され、出発地が設定されます。プランニングポイント編集ボックスに登録された地点の名称は変更することができます。

Point 交通規制情報も掲載

車プランニングでは、キャンバスマップル（株）が企画開発した経路探索エンジンを搭載しています。これにより、一方通行や右左折禁止などの交通規制情報を考慮したルート検索が可能になりました。

■カスタム情報を使って登録



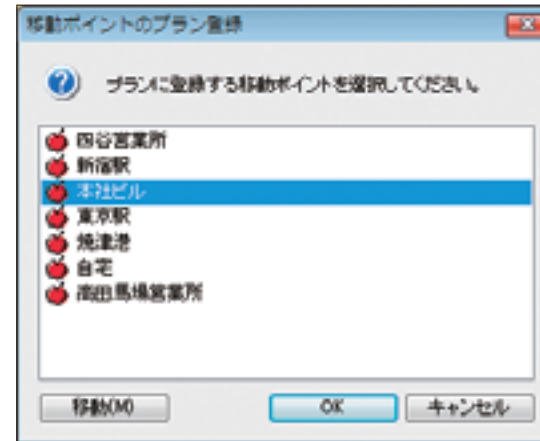
プランニングポイント編集ボックスの右側にあるボタンをクリックし、メニューから「カスタム情報」を選択します。カスタム情報のプラン登録画面が表示されるので、登録したい作成済みのカスタム情報を選択して、「OK」をクリックします。

Point ドラッグ&ドロップで登録

カスタム情報一覧で選択したカスタム情報を、プランニングポイント編集ボックスにドラッグ&ドロップすることでも登録できます。

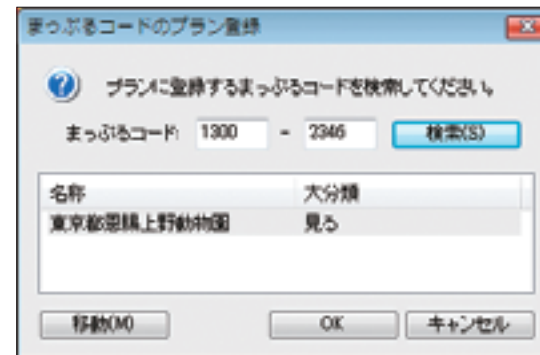


■移動ポイントを使って登録



プランニングポイント編集ボックスの右側にあるボタンをクリックし、メニューから「移動ポイント」を選択します。移動ポイントのプラン登録画面が表示されるので、登録したい移動ポイントを選択して「OK」をクリックします。

■まっぶるコードを使って登録



プランニングポイント編集ボックスの右側にあるボタンをクリックし、メニューから「まっぶるコード」（P.62を参照）を選択します。まっぶるコードのプラン登録画面が表示されるので、登録したいまっぶるコードを入力して「検索」をクリックしましょう。そして、検索結果から登録したいまっぶるコードの物件を選択して「OK」をクリックします。「移動」をクリックして物件の位置を確認してから、登録することもできます。

■地図の右クリックメニューを使って登録



地図上に出発地にしたい場所を表示させ、その地点で右クリックメニューから「この位置をプラン (出発地・目的地) に登録」を選択します。すると、その地点がプランニングポイントに登録されます。

■検索結果を使って登録



検索バーでいずれかの検索を実行し、検索結果のリストで右クリックメニューから「プラン (出発地・目的地) に登録」を選択します。すると、プランニングのリストに検索結果と同名のプランニングポイントが登録されます。目標物検索の場合は、絞込検索の最終結果がリストに表示されていないと登録できないので注意しましょう。

2 目的地を設定する



目的地の設定も、これまでに解説した出発地の設定と同じ手順で行ないます。ただし、目的地を複数設定した場合は作業バーの表示順が経由地となります。その際、目的地リストの上にある上下の矢印ボタン \uparrow \downarrow を利用することで、表示順を入れ替えることができます。また、設定した出発地や目的地を削除するには削除ボタン \times をクリックします。出発地を削除すると、目的地を含めてすべてのプランニングポイントが削除されます。

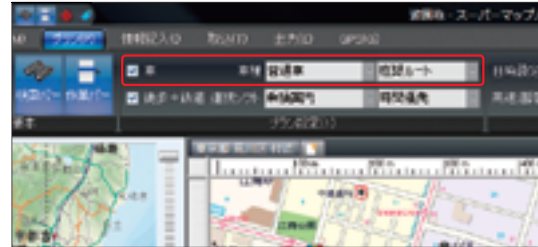
Point
プランニングポイントの全入れ替えと目的地の滞在時間

出発地の上部にある \uparrow ボタンをクリックすると、出発地・目的地をすべて入れ替えて、復路にすることができます。再度 \uparrow ボタンをクリックすれば元に戻ります。

また最終以外の目的地の右側にある ⏸ ボタンをクリックして「滞在時間を設定」を選択した場合、滞在時間を入力することができます。

プランニングを設定する

1 乗り物の条件を設定する



「車」や「徒歩+鉄道」など、プランニングで用いる乗り物を選択できます。プランニングの目的に合わせて「車」と「徒歩+鉄道」のいずれか、あるいは両方のチェックボックスを選択します。徒歩のみのルートを作成したい場合は、[プラン設定 (2)] の「高速道路・鉄道駅」で「高速道路と鉄道を利用しない」を選択してください。

■「車」の設定

ルート検索に車の利用を組み込むときは、[プラン設定 (1)] グループの「車」にチェックを入れます。次に、二輪車や大型車など8種類から車種を選択します (車種の設定は高速道路料金などに影響します)。なお、下記のように自転車も車に含まれます。最後に検索条件を推奨ルート、距離優先、一般道優先から選択します。

■「徒歩+鉄道」の設定

ルート検索に徒歩+鉄道の利用を組み込むときは、[プラン設定 (1)] グループの「徒歩+鉄道」にチェックを入れます。そして連携ソフトを選択し、優先する条件を時間、乗換回数、料金から選択します。連携ソフトとして路線検索ソフトを利用すると、料金、路線、時間などを行程表に反映させることができます。なお、対応する市販の路線検索ソフトがパソコンにインストールされていない場合、連携ソフトと優先条件選択は利用できません。(P.202 参照)

Point
車種の内訳について

選択可能な車種の内訳を解説します。車種に応じてルートや有料道路の料金は変化します。自転車・原付は、基本的に有料道路を利用できません。

- ・自転車 …… 自転車
- ・原付 …… 原動機付自転車
- ・二輪 …… 二輪自動車 (側車付を含む)
- ・軽自動車 …… 軽自動車
- ・普通車 …… 普通乗用自動車、トレーラ (軽+1軸)
- ・中型車 …… マイクロバスなど、トレーラ (軽+多軸、普+1軸)、普通貨物自動車 (総重量8t未満かつ最大積載量5t未満で3軸以下)
- ・大型車 …… 路線バスなど、トレーラ (普+多軸、中・大+1軸)、普通貨物自動車 (総重量8t以上または最大積載量5t以上で3軸以下、総重量25t以下かつ4軸)
- ・特大車 …… 観光バスなど、トレーラ (中+多軸、計4軸以上の大型車)、普通貨物自動車 (5軸以上及び4軸の一部)、大型特殊自動車

2 日時と複数ルートを設定する



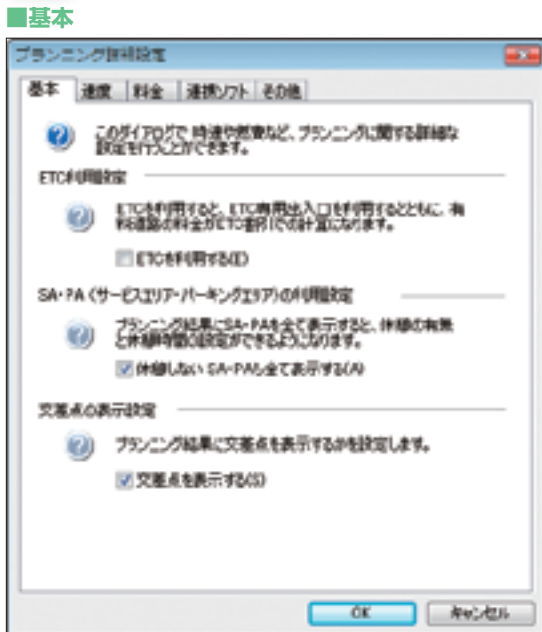
[プラン設定 (2)] グループの「日時設定」で、出発もしくは到着の日時を設定します。デフォルトではスーパーマップル・デジタルを起動した時間に設定されています。また、「複数ルート検索」にチェックを入れると、条件に合った複数のルートを検索結果に表示させることができます。なお「徒歩+鉄道」の場合、特定の路線検索ソフトと連携したときのみ有効になります。

3 高速道路・鉄道駅の利用を設定する



[プラン設定 (2)] グループの「高速道路・鉄道駅」を選択し、4種類の設定から希望のものを選びます。ここでは、検索時に高速道路のインターチェンジ (IC) や駅を自動で選択するか、任意で選択するかを決めることができます。また、高速道路と鉄道のどちらとも利用しないように設定することもできます。

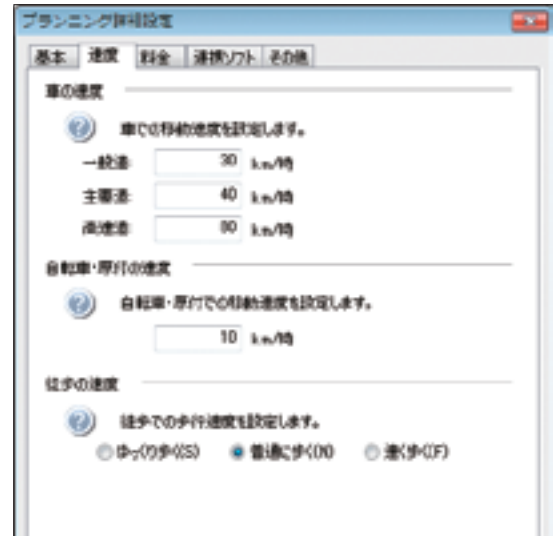
4 詳細内容を設定する



[プラン設定 (2)] グループの「詳細設定」→ [基本] タブをクリックします。ここでは、ETC 利用の可否、サービスエリア (SA) やパーキングエリア (PA) における休憩の可否、プランニング結果における交差点表示の可否を設定します。ETC を利用する場合は、ETC 専用インターチェンジの利用と ETC 料金割引が適用されます。

Point
プランニング詳細設定の初期化
 「プランニング詳細設定」画面の [その他] タブで「初期化」をクリックすると、プランニング詳細設定をインストール直後の状態に戻すことができます。

■速度



[プラン設定 (2)] グループの「詳細設定」→ [速度] タブをクリックします。ここでは、移動速度を車、自転車・原付、徒歩の種別に設定できます。車の項目では、一般道、主要道、高速道を別々に設定することになります。また、プランニング実行後に速度を変更した場合は、[再検索] ボタンを押すことで正しいルートを表示することができます (P.105 参照)。

Point
プラン実行後の設定変更
 プラン実行後の速度や料金の変更は、作業バーの上部にある [詳細設定] ボタンから行ないます。但し、ETC利用可否などルート生成に関わる一部の設定については変更できません。

■料金



[プラン設定 (2)] グループの「詳細設定」→ [料金] タブをクリックします。ここでは、原付、一般道、主要道、高速道の種別に、車で移動する際の燃費を設定します。そのほか、1リットルあたりのガソリン代と障害者割引の適用の可否を設定できます。また、プランニング実行後に料金を変更した場合は、[再検索] ボタンを押すことで、再計算された値が表示されます。

■連携ソフト

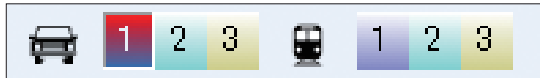


[プラン設定 (2)] グループの「詳細設定」→ [連携ソフト] タブをクリックします。ここでは、連携ソフトが「乗換案内」の場合に、出発駅待ち時間 (駅到着から電車に乗るまでの調整時間) などの設定を行ないます。

プランニングを実行する



出発地と目的地、プランニングの検索内容を設定したら、画面右上の「プラン実行」ボタンをクリックします。プランニングが終わると、プランニングリスト（ルートの行程や移動距離、所要時間、料金）、地図上、索引図上の3カ所にプランニングの結果が表示されます。「徒歩+鉄道」の場合、総合計の距離は表示されません。また、時間や料金は連携している路線検索ソフトにより表示されます。



【プラン設定 (2)】グループで「複数ルート検索」を選択していた場合、複数の検索結果が作成されます。プランニング結果が複数ある場合は番号ボタンをクリックして切り替えられますが、地図上には同時に色分けされて表示されます。
【プラン設定 (1)】グループで「車」と「徒歩+鉄道」の両方にチェックを入れて検索すると、それぞれのプランを同時に作成することができます。

■車プランニング



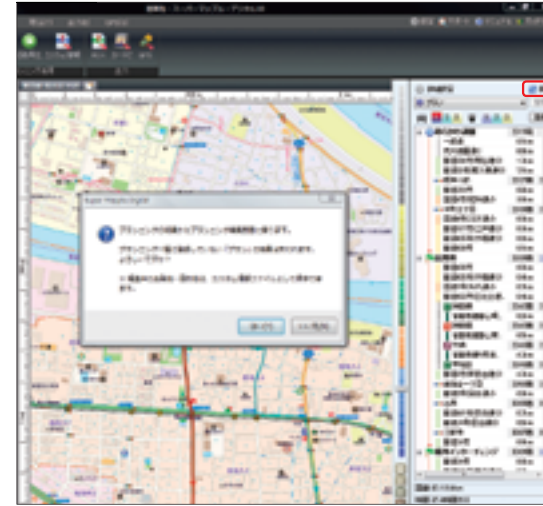
■徒歩+鉄道プランニング



【プラン設定 (2)】グループの「高速道路・鉄道駅」で「ICと駅を自動で選択する」を選択していない場合、ルート作成する距離に応じて、車プランニングでは「高速入口の選択」、徒歩+鉄道プランニングでは「鉄道駅・空港の選択」を行いません。

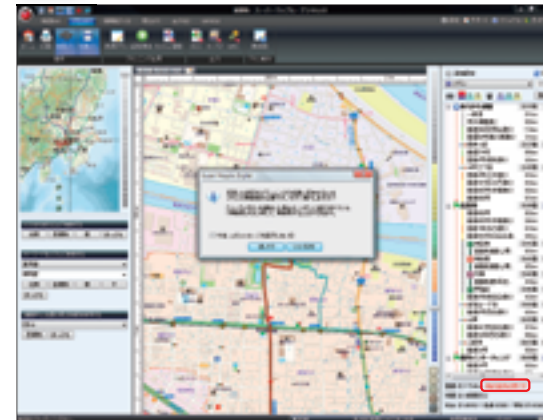
プランニングを再構築する

1 プランニング結果表示中に「戻る」をクリックする



プランニング結果表示中に作業バーの右上にある「戻る」をクリックすると、プランニング実行以前の画面に戻ります。この場合、プランの登録 (P.106 を参照) をしていないプランニング結果は失われます。なお、編集集中の出発地・目的地はカスタム情報ファイルとして保存できます (P.108 を参照)。出発地・目的地の設定や各種プラン設定は失われていないので、一部の設定だけを変えてプランニングを再び実行することができます。

2 詳細設定の変更と再検索




プランニング結果の詳細設定で速度を変更したり、経由地やSA・PAの滞在時間を変更した場合、再検索を行なう必要があります。再検索が必要な場合は、行程表の下の距離表示欄に「再計算が必要です」と表示されます。



Point

新しくプランを作り直すには

出発地や目的地も含め、まったく新しくプランを作り直したい場合、【プランニング活用グループ】の【新規プラン】ボタンをクリックしましょう。何も設定されていない初期状態のプ

ラン編集画面に戻ります。設定画面における出発地右側の  ボタンでもすべてをクリアできます。

3-4

プランの保存と活用

作成したプランを保存しておけば、いつでも簡単に呼び出して閲覧できるので便利です。また、プランにはさまざまな活用があり、カスタム情報交換ファイルとして出力し、外部機器やカー

ナビでデータを利用することもできます。経路再生により移動を視覚的にシミュレーションするのも、スーパーマップル・デジタルにおけるプランニングの醍醐味です。



プランを登録する

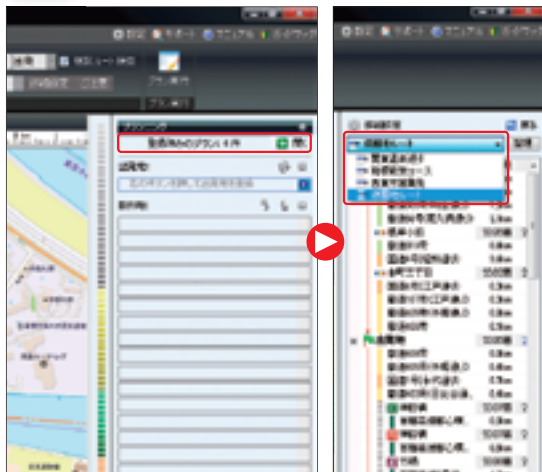
1 「登録」をクリックして名前を入力する



プランニング結果が表示されたら、作業バーの右上にある「登録」をクリックします。そのとき結果が複数ある場合は、まず保存したいプランを選択してください。すると名前入力画面が表示されるので、任意の名前を入力して「OK」をクリックしましょう。

登録されたプランニング結果はスーパーマップル・デジタルのシステムに保存されるため、他のパソコンや別のバージョンで利用することはできません。他のパソコンや別のバージョンでプランニング結果を利用したい場合は、カスタム情報ファイルとして保存するといいでしょう (P.108を参照)。

2 登録したプランを選択して表示する



登録したプランを利用するには、まず出発地や目的地を設定するプランニング画面を表示します。そして作業バーの右上にある「開く」をクリックし、プルダウンリストから目的のプランを選択します。これで地図とともに、登録したプランニング結果を呼び出すことができます。

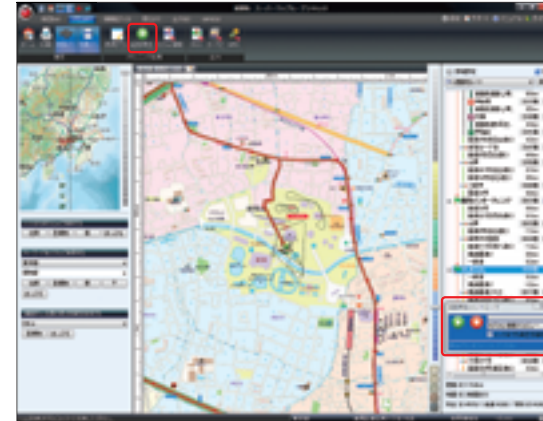
また、プルダウンリスト右側の「整理」ボタンを選択すると、プランの名前の変更や削除を行なうことができます。



Point
SA・PA情報の表示
行程表のSA・PAをクリックすると、該当するSA・PAの施設案内図が表示されます。

プランニング結果の経路を再生する

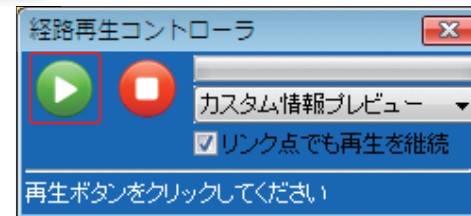
1 プランニング結果表示中に「経路再生」をクリックする



経路再生とは地図におけるプランニング結果のルート、始点から終点まで構成点の順に再生する機能です。まずプランニング結果を表示させ、[プランニング活用] グループの「経路再生」をクリックします。

経路再生が可能なのは、折れ線で構成されたオブジェクトです。プランニングで作成されたルートのほか、情報記入で作成したルート、周辺検索で作成したルート、GPSで取得した軌跡なども再生することができます。その場合は「選択」ボタンで再生したい折れ線を選択し、右クリックから「経路再生」を選択します。

2 再生環境を設定する



表示された経路再生コントローラで、再生環境を設定します。プルダウンリストで選択する設定は、カスタム情報のプロパティにデータやリンク先が入力されている場合、経路再生時にカスタム情報プレビュー画面を表示するか決めるものです。また、「リンク点でも再生を継続」にチェックを入れない場合、経路地で再生が一時停止します。設定が完了したら「再生」ボタンをクリックしましょう。

3 アニメーションを開始する



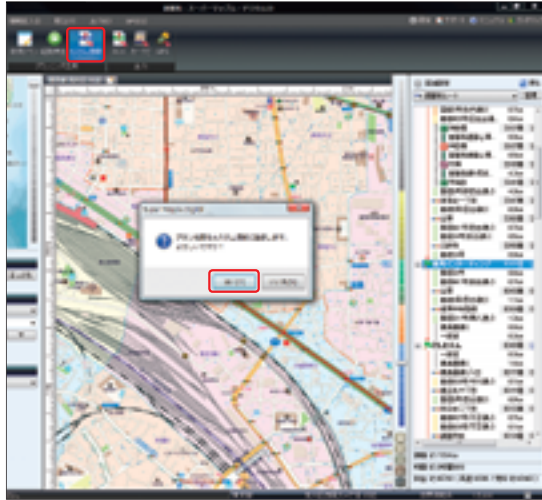
再生がスタートすると、ルート上を矢印がアニメーションで移動していきます。再生中は、矢印の進行状況に沿って経路再生コントローラの距離表示も変化します。長距離のプランの場合は、地図を広域図に変更して再生するとよいでしょう。



Point
折れ線ルートの経路再生
折れ線ルートの場合、「選択」ボタンでルート線を選択し、右クリックから「経路再生」を選択すると経路を再生することができます。

プランニング結果をカスタム情報化する

1 プランニング結果表示中に [カスタム情報] をクリックする



プランニングルート・料金情報はシステム内部に保存されるため、他のパソコンや Pocket Mapple Digital など利用することができません。そのため、プランニング結果を情報として活用する場合は、カスタム情報化する必要があります。

カスタム情報化を行なうには、まずプランニング結果を表示して [プランニング活用] グループの [カスタム情報] をクリックします。

2 地図上の表示を確認して保存する



カスタム情報として保存したプランの地点と経路が地図上に表示され、カスタム情報の作業バーにフォルダにまとめられた形で追加されます。なお、各地点はアイコンではなくテキスト表示となります。

カスタム情報化が完了したら、マップメニューから「名前を付けて保存」を選択し、カスタム情報ファイルとして外部に保存しておきましょう。



Point

プランニング結果のカスタム情報

プランニング結果のカスタム情報は、プランニング設定の出発・到着日時によって通過時刻が組み込まれ、その日時でソートされて表示されます。各区間の経路の名称には、道路名（または道路種別）と距離、時間が入ります。

プランニング結果をカーナビ用ファイルに出力する

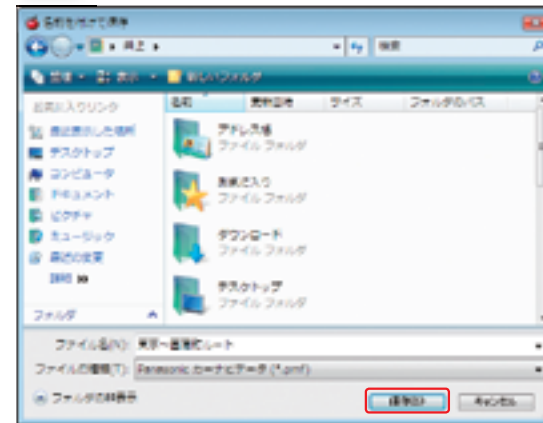
1 プランニング結果表示中に [カーナビ] をクリックする



プランニング結果の出発地と目的地を Panasonic 製 DVD 型 / HDD 型カーナビ用ファイルとして出力します。出力対象となるのは緯度経度、名称、住所、メモなどの文字情報で、ルートは対象外になります。このファイルを使えば、カーナビで地図を移動させて目的地を設定する必要がなく、簡単に目的地を登録できます。

出力するときはプランニング結果を表示して、[出力] グループの [カーナビ] ボタンをクリックします。インポートとエクスポート ウィザード画面が表示されるので、HDD 型と DVD 型のいずれかのタイプを選択しましょう。なお、一部の機種で HDD 型であっても、DVD 型カーナビ用ファイルのみ対応している場合があります。詳しくはサポートページをご確認ください。

2 カーナビ用ファイルとしてパソコンに保存する



データの保存時、DVD 型用のファイルは (*.pmf) 形式、HDD 型用のファイルは (*.rcx) 形式になります。保存したファイルは SD カードにコピーすることでカーナビで利用できます。また、HDD 型用のデータを出力するときは、保存前に出力順序を設定します。

まっぐるダウンロードサービス (P.115 を参照) や検索結果から取得したカスタム情報は、DVD 型カーナビ用ファイルとしては出力できないのでご注意ください。



Point

カーナビ用以外のプランニング結果の出力

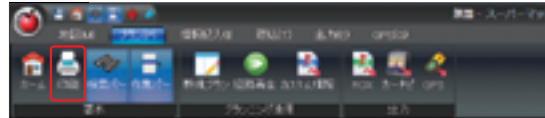
[RCX] ボタンでは、プランニング結果をカスタム情報交換ファイルとして出力します。カスタム情報交換ファイルは Pocket Mapple Digital に利用できます。

プランニング結果を印刷する

プラン印刷は、単純に表示されている地図を印刷するのではありません。検索したルートや行程表などプラン全体の印刷をはじめ、インターチェンジや乗り換え駅と

いったプランニングポイントの情報を追加して印刷できます。プラン印刷のスタイルは数多くあり (P.111 参照)、目的に合わせたさまざまな利用法を提供します。

1 プランニング結果表示中に [印刷] をクリックする



プランニング結果を表示後、[基本] グループの [印刷] ボタンがマップメニューの「印刷」をクリックしましょう。

2 「プランを印刷する」をクリックする



印刷ウィザード画面が表示されたら印刷の種類を選択します。ここでは、一番右の「プランを印刷する」をクリックします。

3 プランの印刷内容を設定する



印刷内容の設定では、まず印刷に反映させるプランニングポイントにチェックを入れ、「印刷の向き」と「プラン印刷スタイル」(P.111 を参照) を選択します。「プラン印刷スタイル」で「左：プラン情報+右：プランニングポイント」(印刷の向きが縦では「上：プラン情報+下：プランニングポイント」)、もしくは「全面：プランニングポイント」を選択した場合、さらに「プランニングポイント印刷スタイル」の選択と「1 ページあたりの印刷件数」の数指定が必要になります。



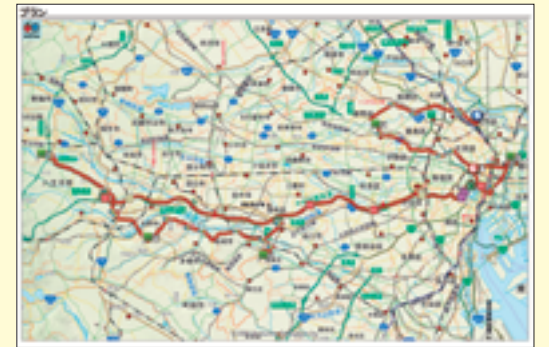
Point

「プラン印刷スタイル」を使い分けよう

「プラン印刷スタイル」は印刷の向きが横の場合に5種類、縦の場合に6種類用意されており、行程表と行程地図、プランニングポイントの情報など、印刷項目の組み合わせとレイアウトを選択できます。印刷項目を組み合わせの場合、印刷の向きが横では左右、縦では上下に配置されます。それぞれの特徴を理解して、利用状況や環境に合ったものを選びましょう。

「プランニングポイント」の地図の縮尺は、プランニング作業の地図ウインドウに表示している状態で印刷されます。なお、プランニングポイントの数が多い場合は、1ページあたりの印刷件数を増やしておくとい良いでしょう。

■全面：行程地図



ルートを全体に表示した地図が印刷されます。

■全面：行程表



作業バーに表示される行程表のみが印刷されます。

■行程表+行程地図



行程表と行程地図を配置します。印刷の向きが縦の場合は上下の配置を入れ替えたスタイルもあります。

■プラン情報+プランニングポイント(全面：地図)



行程表および行程地図とプランニングポイントを配置します。プランニングポイントのスタイルは、地図のみや地図とデータの複合など、カスタム情報印刷と同様に複数のパターンが作成できます。

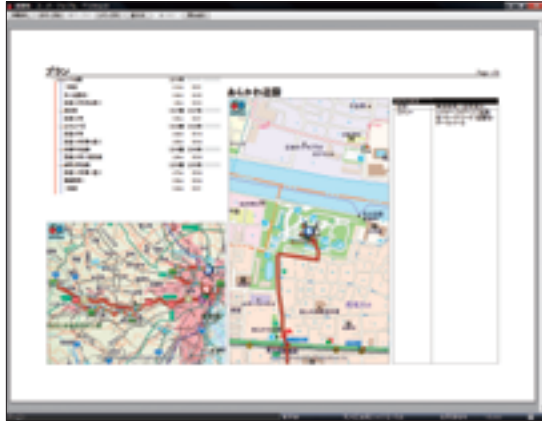
■全面：プランニングポイント(全面：地図)



プランニングポイントの情報のみ印刷されます。

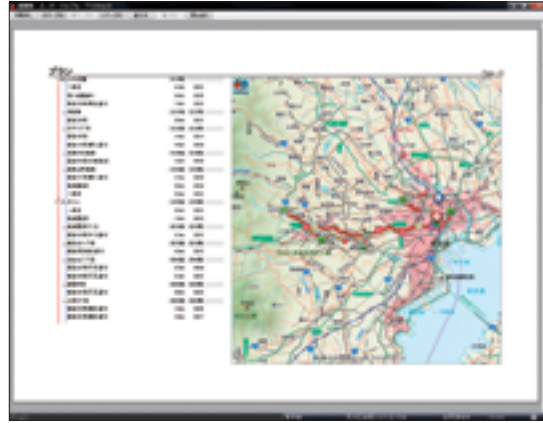
4 印刷プレビューを確認する

■左:プラン情報 右:プランニングポイント(左:地図 右:データ)



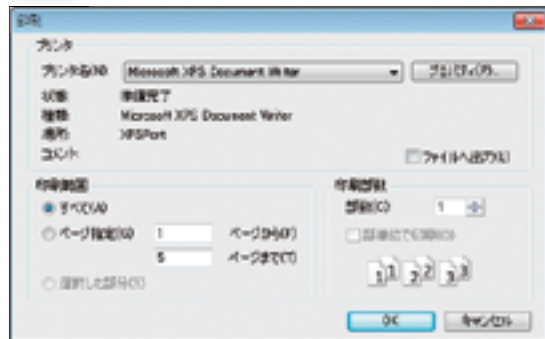
印刷内容の設定が完了したら、印刷レイアウトが正しく表示されるか印刷プレビューを確認しましょう。地図の収録

■左:行程表 右:行程地図



範囲により、地図が印刷されない場合もあるので注意が必要です。

5 地図の印刷を開始する



印刷プレビューの画面左上にある「印刷」をクリックすると、プリンタの設定画面が表示されるので、プリンタ側の印刷設定を確認して印刷を開始します。設定の内容は接続されているプリンタの機種によって異なります。

Point プラン印刷の用語

- ・「行程地図」はポイント間（あるいはプラン全体）の経路を含む地図です。
- ・「行程表」は作業バーのプランニング結果として表示された行程です。
- ・「プラン情報」は行程地図+行程表を表すものです。